

- この説明書は、必ず組立てされる方にお渡してください。
- 組立てされる方へのお願い
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・縦枠釘打フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。

・シール材を欠損させたまま組立てたり、浮きやズレがないようにしてください。

・引違いサッシの右縦枠の躯体取付けねじには、浴室防止部品セットに同梱されているコーキングワッシャーを使用してください。

・引違いサッシの左縦枠の躯体取付けねじには、浴室防止部品セットに同梱されているコーキングワッシャーは使用しないでください。必ず下穴をあけ、ねじ止めした際に、シーリング材がはみ出るくらい充てんし、ねじ締め付け後、はみ出したシーリング材を拭き取ってください。

・嵌合にズレがないようにしてください。

・防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。

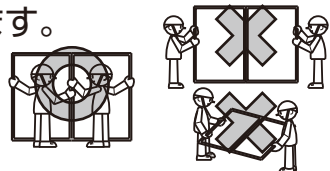
・下部キャップは、ツメが変形していないこと、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。

・上・下キャップの取付けには、電動ドライバーは使用しないでください。

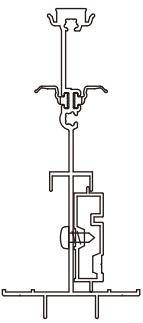
・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないこと、また排水穴にすき間があることを確認してください。

・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。

- 組立て上のお願い
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
- 連窓後の取付けは、「浴室リフォーム用連窓方立(引違い窓用)取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 組立て後の取扱いとお願い
- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



■浴室リフォーム用連窓方立(引違い窓用)



※図はR用を示します。

■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
※①は取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡してください。

①	②	③	④
			
なべドリルねじ φ4×8	皿ドリルねじ φ4×19	バインドタッピンねじ φ4×20	なべドリルねじ φ4×13
組立て用			躯体取付け用

■部品一覧表

						
連窓用裏板 (FIX窓用)	連窓用裏板 (引違い窓用)	防水テープ④	防水テープ⑤	上部キャップ	上部キャップ (面格子付 引違い窓用)	下部キャップ

■組立て順序

1 連窓用裏板の取付け

【FIX窓】

●連結部上下(室内側)に連窓用裏板(FIX窓用)を入れ、枠を組立てます。

①連結側縦枠上下2カ所の室内側組立てねじをゆるめます。

②ゆるめたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けてスライドさせ、ねじを締直してください。連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。

※裏板は上下共通です。

【引違い窓】

●連結部上下(室内側)に連窓用裏板(引違い窓用)を入れ、枠を組立てます。

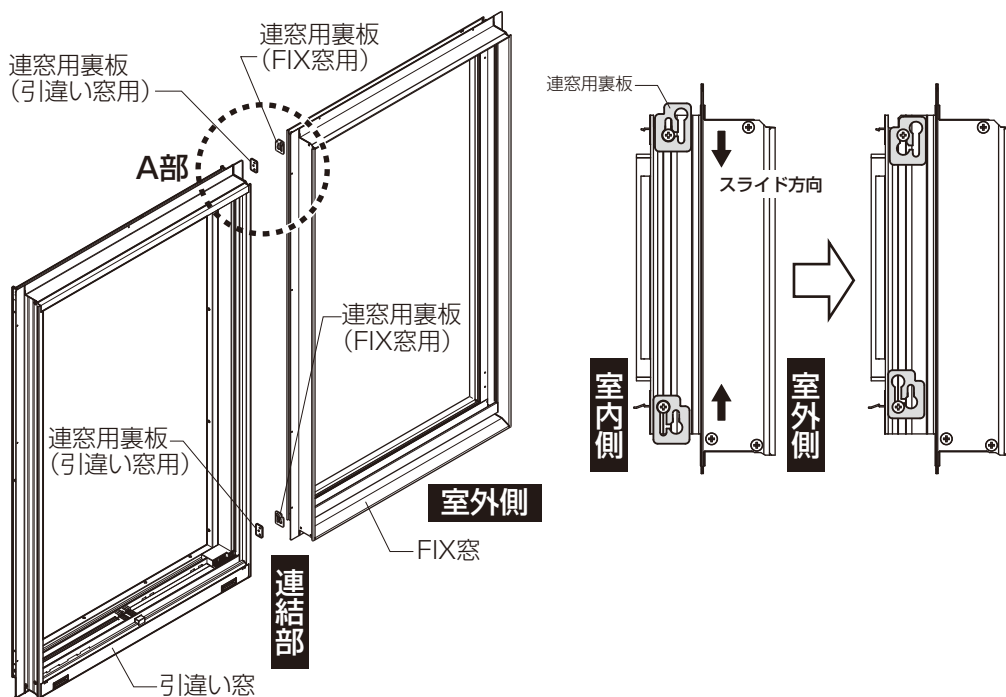
①連結側縦枠上下2カ所の室内側組立てねじをゆるめてぬき取ります。

②ぬき取ったねじで、連窓用裏板(引違い窓用)を連結側縦枠上下2カ所に取付けます。

※裏板は上下共通です。

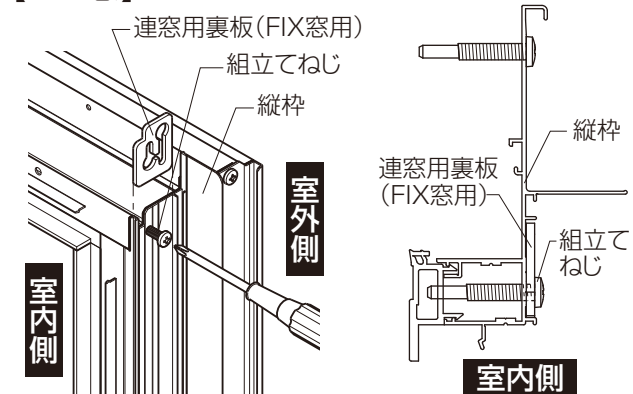
【組立て例：FIX窓+引違い窓】

【FIX窓】

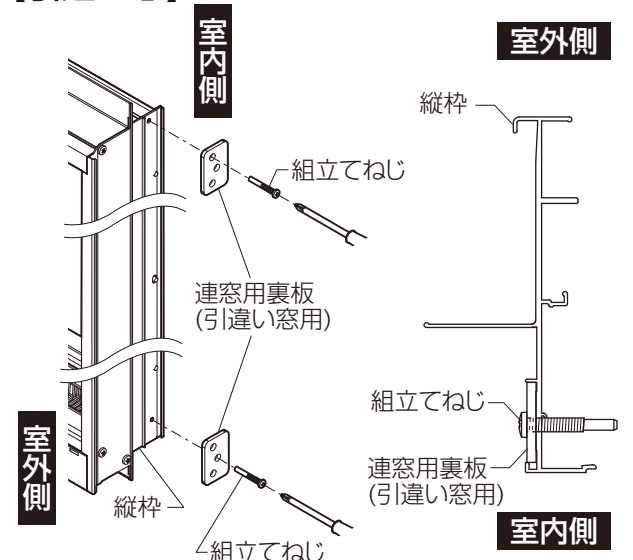


■A部詳細図

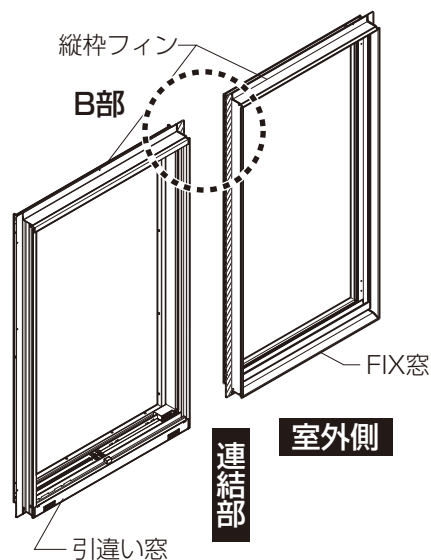
【FIX窓】



【引違い窓】



2 縦枠釘打フィンのカット



【FIX窓】

①連結する側の縦枠のフィンのV溝にカッターで1~2回スジをつけます。

②プライヤーなどでまず  部を、次に  部を折り曲げながら取去ります。

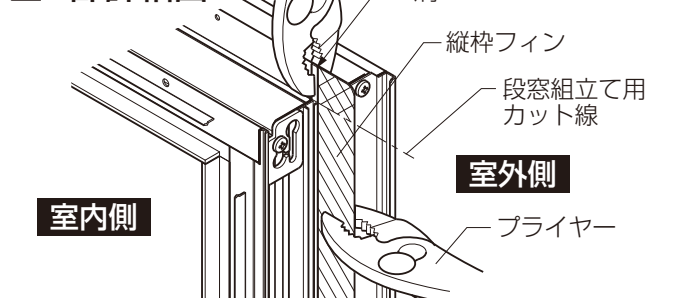
※縦枠上部は、カットしない部分をプライヤーなどで固定して折り取ってください。

【引違い窓】

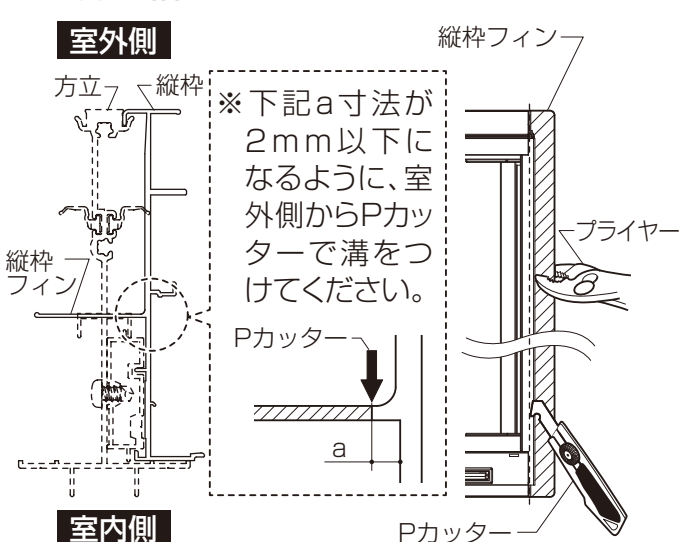
①連結する側の縦枠のフィンの方立に干渉する部分に、室外側からPカッターで溝をつけます。

②プライヤーなどで  部を折り曲げながら取去ります。

■B部詳細図

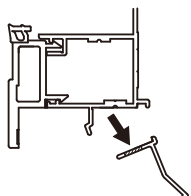


■B部詳細図



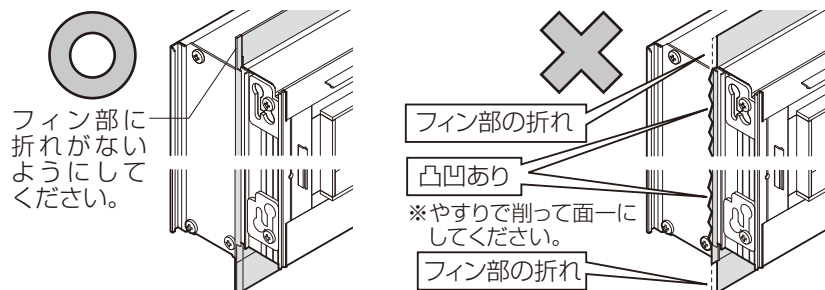
お願い

●連結部の縦枠にブラケットがついている場合ははずしてください。



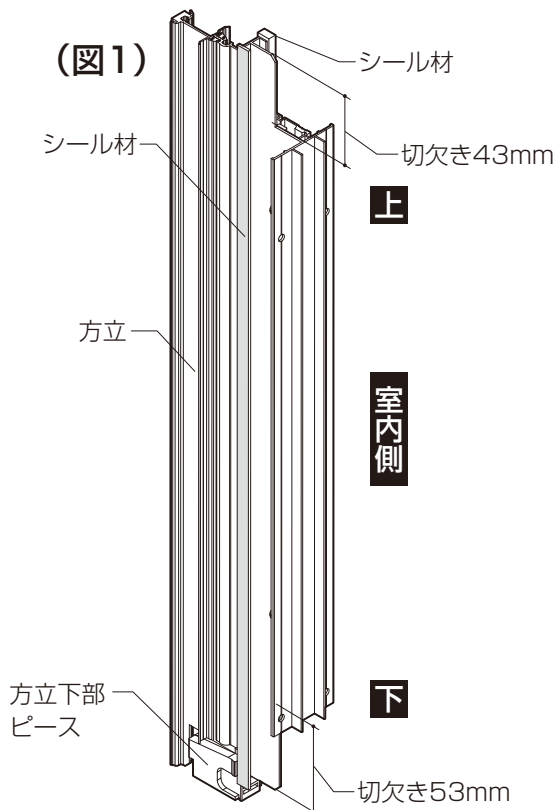
▲ 注 意

- 縦枠釘打フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。方立部との圧着が弱くなり、漏水の原因になるおそれがあります。



3 方立との連結

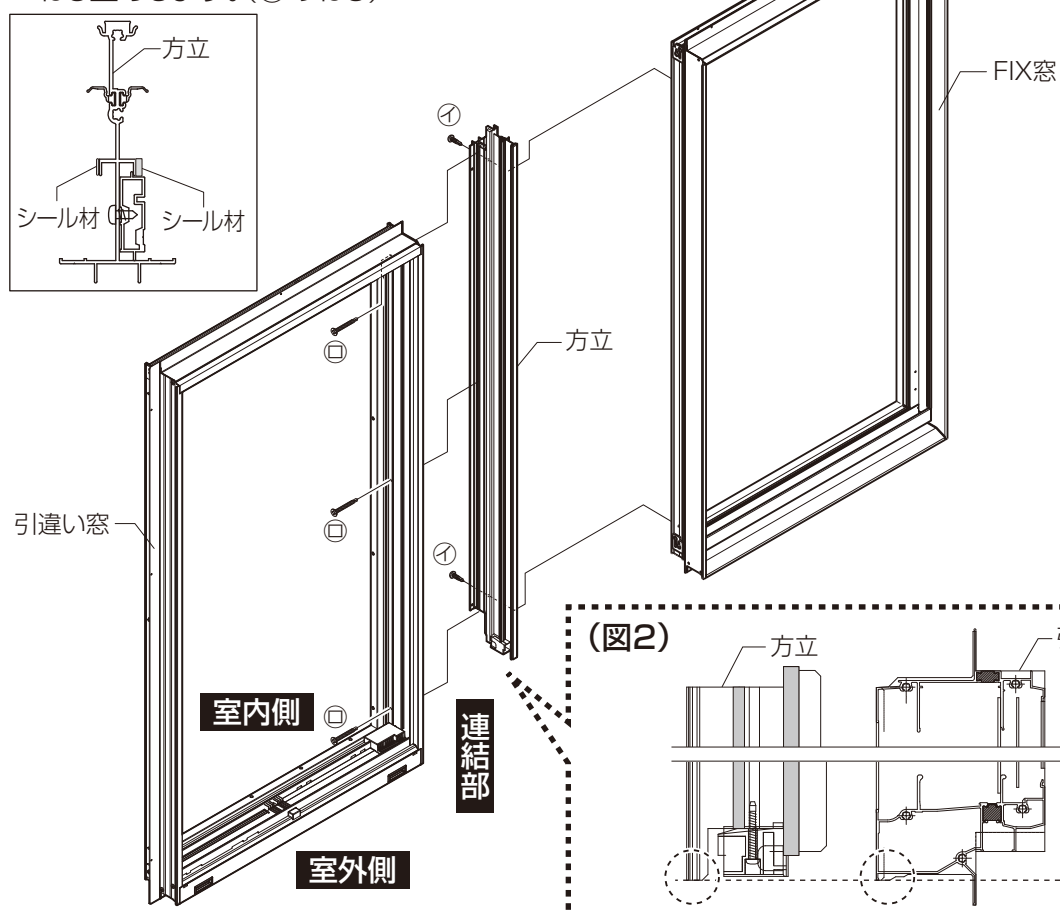
※連結前に方立の上下を確認してください。(図1)



①方立を引違い枠にはめ合わせ、下端をそろえて(図2)はめ込みます。

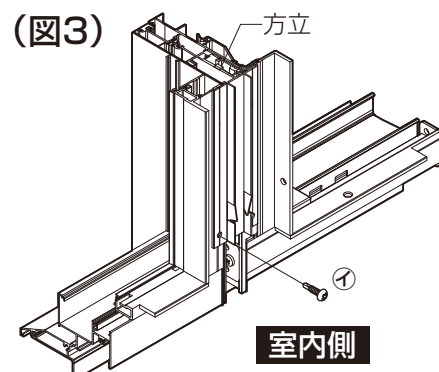
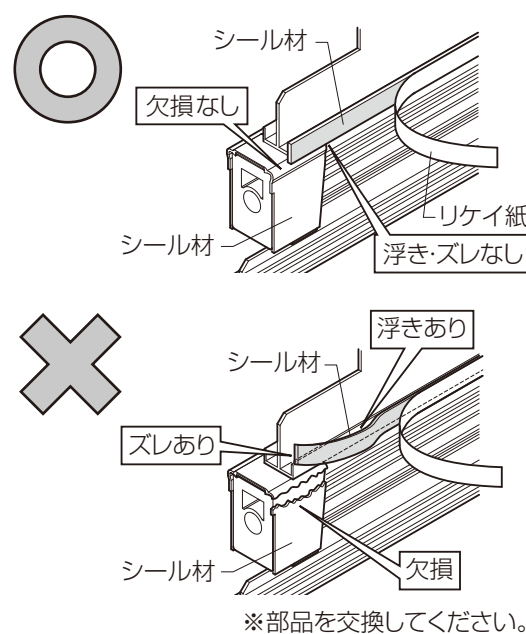
※方立に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。

②引違い枠中間の躯体固定穴からφ2.5の下穴をあけ、ねじ止めします。(◎のねじ)



▲ 注 意

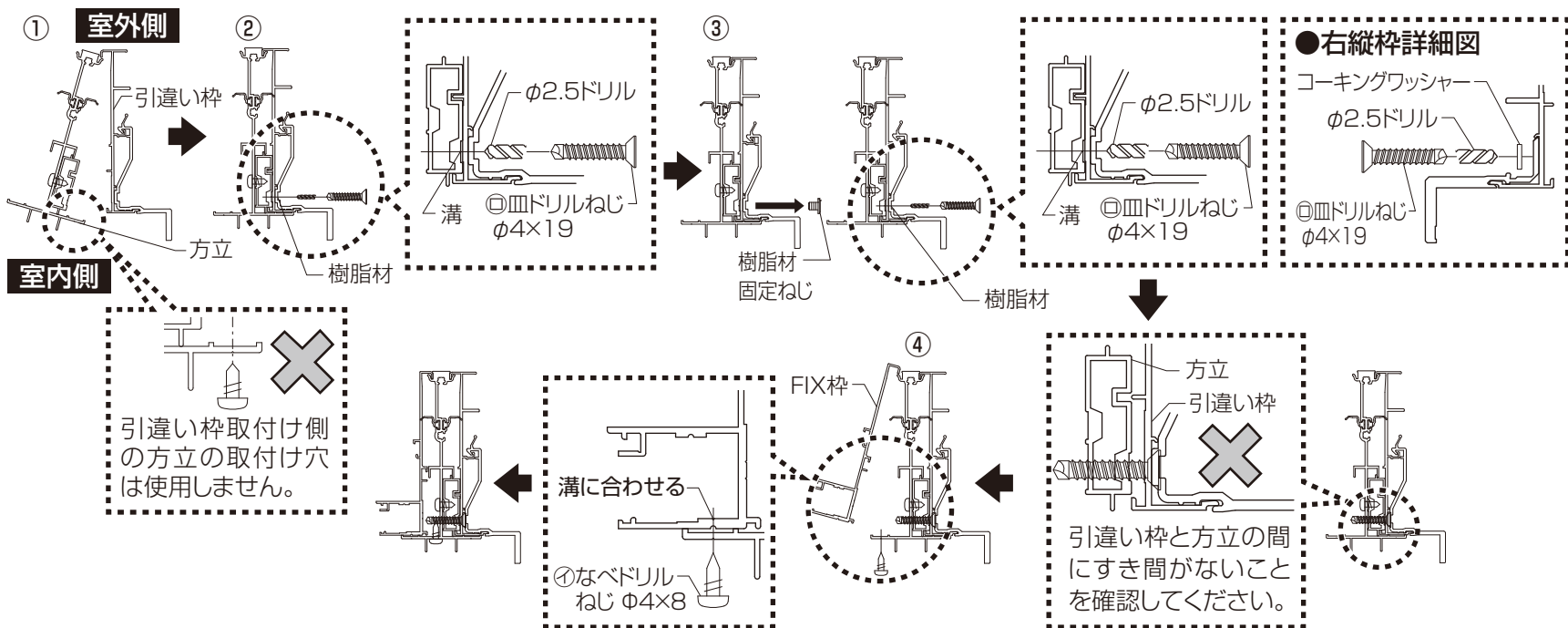
- 連窓方立に張付けてあるシール材は浮きやズレがないようにリケイ紙をゆっくり剥がしてください。また、シール材を欠損させたまま組立てないでください。漏水の原因になるおそれがあります。その場合は、部品を交換してください。



③引違い枠上下の樹脂材固定ねじを外してφ2.5の下穴をあけ、ねじ止めします。(◎のねじ)

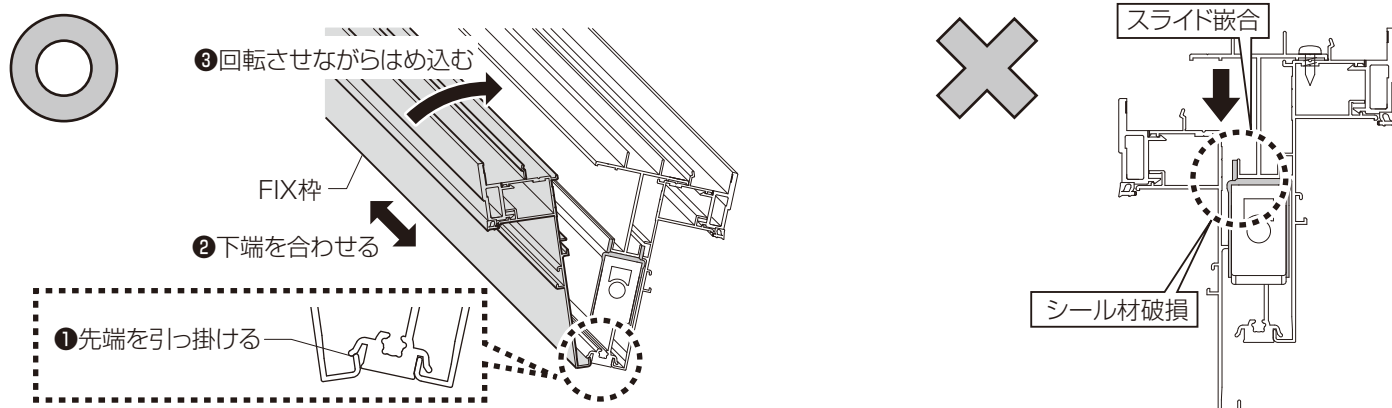
④FIX枠を方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。(①のねじ)

※下端のみサッシ枠に下穴があいています。(サッシ枠に取付いているプッシュボタンは取外してください。)(図3)
それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。



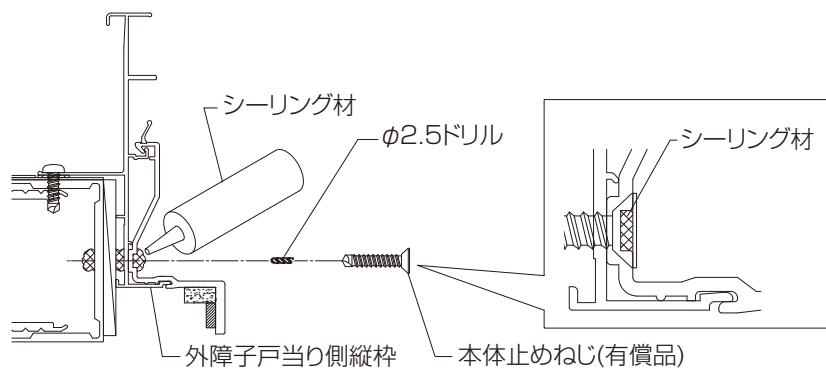
▲ 注意

●方立と縦枠の連結は下記の手順で行ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

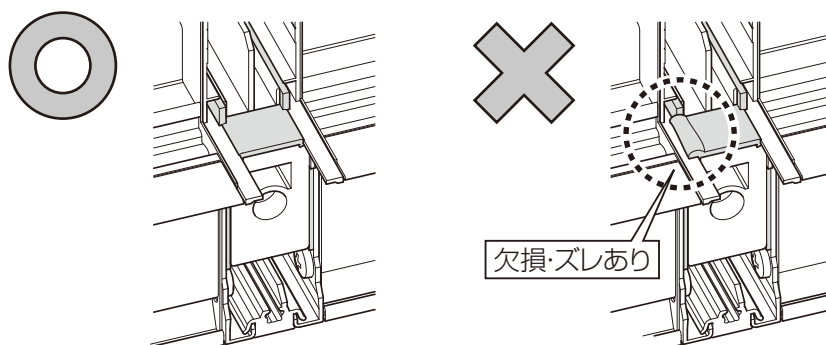


●引違いサッシの右縦枠の躯体取付けねじには、浴室防止部品セットに同梱されているコーキングワッシャーを使用してください。漏水の原因になるおそれがあります。

●引違いサッシの左縦枠の躯体取付けねじには、浴室防止部品セットに同梱されているコーキングワッシャーは使用しないでください。必ず下穴をあけ、ねじ止めした際に、シーリング材がはみ出るくらい充てんし、ねじ締め付け後、はみ出したシーリング材を拭き取ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

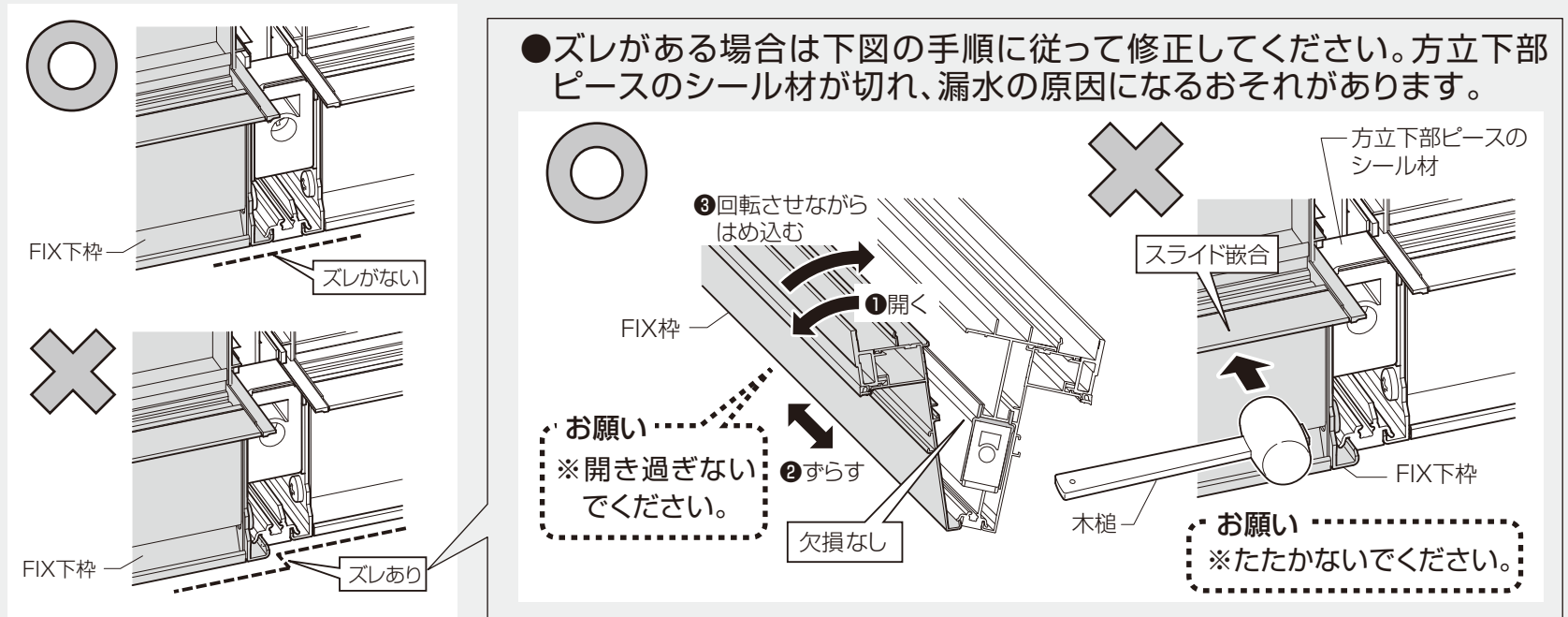


●連結後シール材に欠損、ズレがないようにしてください。漏水の原因になるおそれがあります。



▲ 注意

●下側を基準に嵌合にズレがないようにしてください。上下キャップ取付けの際、圧着が弱まり、漏水の原因になるおそれがあります。



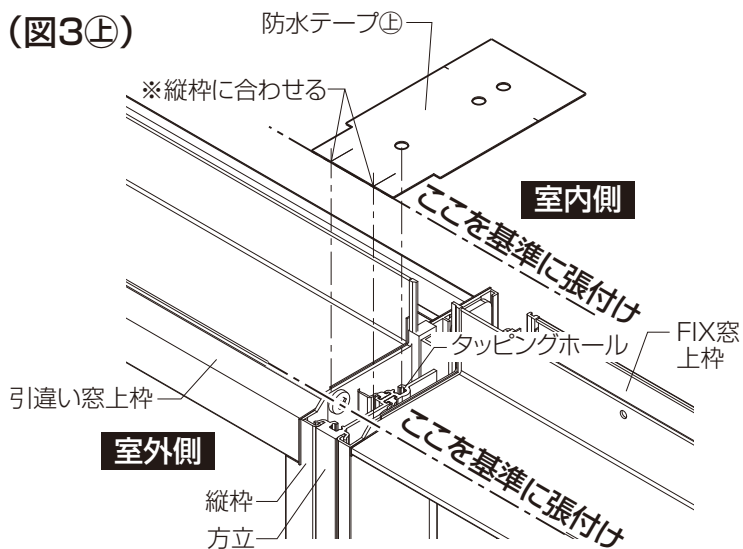
4 防水テープの張付け

●防水テープを張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。

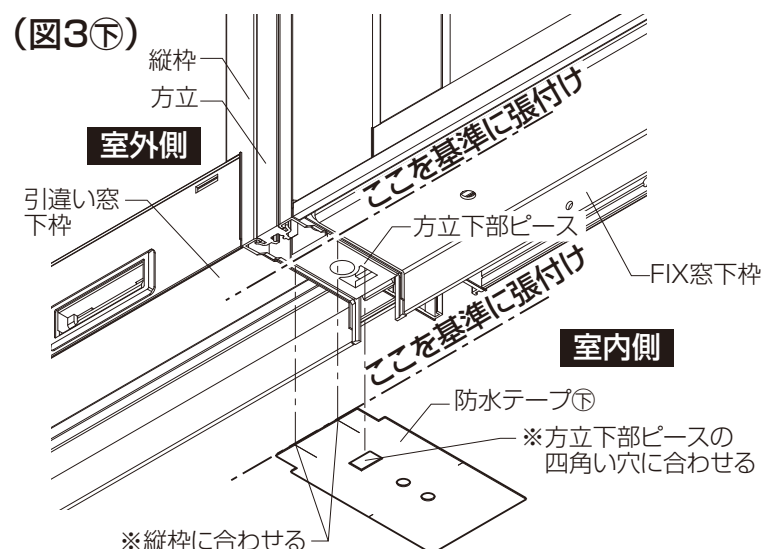
①上部は、防水テープ⑤を上枠先端に合わせ、防水テープ⑤の切込みをサッシ縦枠に合わせます。(図3㊦)

下部は、防水テープ⑥を方立下部ピース先端に合わせ、防水テープ⑥の切込みをサッシ縦枠に合わせます。(図3㊧)

(図3㊦)



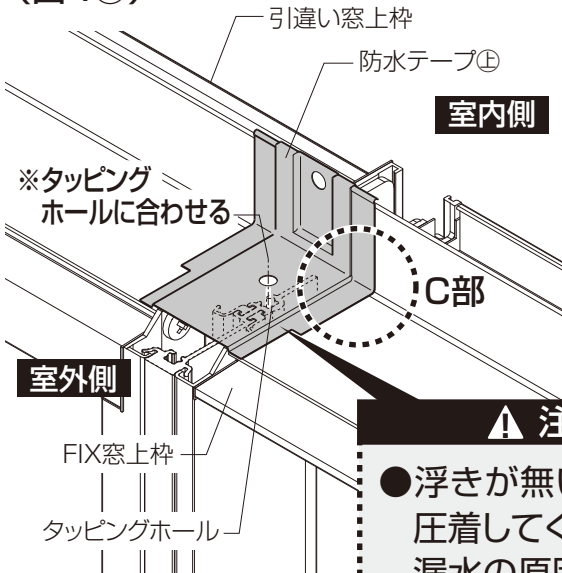
(図3㊧)



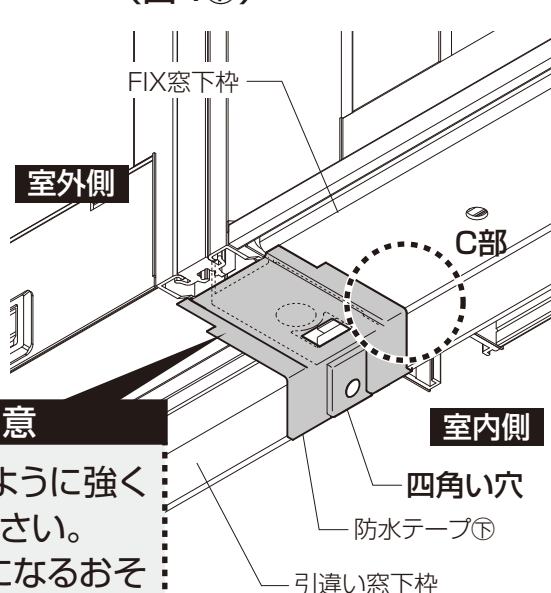
②上部は、防水テープ⑤の穴位置と連窓方立のタッピングホールを合わせ、サッシ枠に沿って張ります。(図4㊦) 下部は、防水テープ⑥の穴位置と方立下部ピースの四角い穴位置を合わせ、サッシ枠に沿って張ります。(図4㊧)

※コーナー部は、必ず押さえてすき間があかないようにしてください。

(図4㊦)



(図4㊧)



▲ 注意

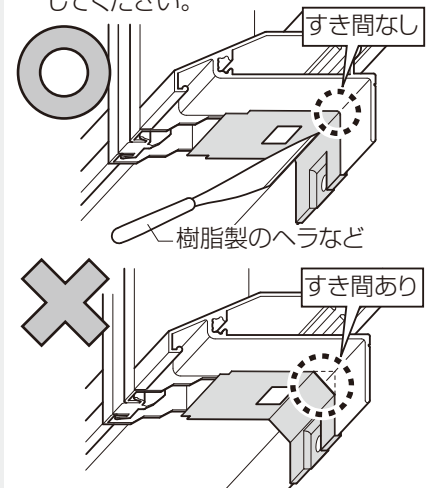
●浮きが無いように強く圧着してください。漏水の原因になるおそれがあります。

▲ 注意

●防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。また、押え過ぎて切れないようにしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

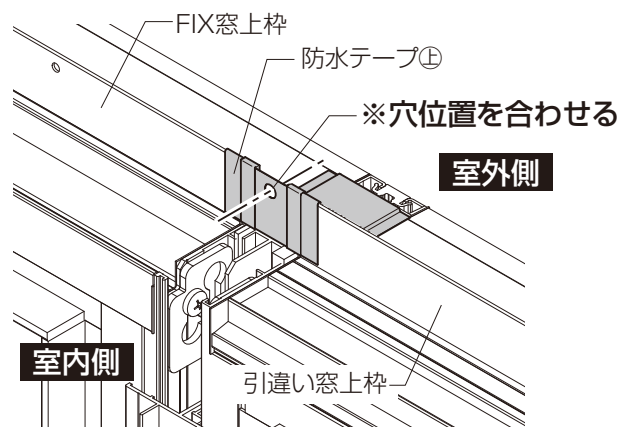
■ C部詳細図

※図は下枠を示します。上枠も同様に圧着してください。

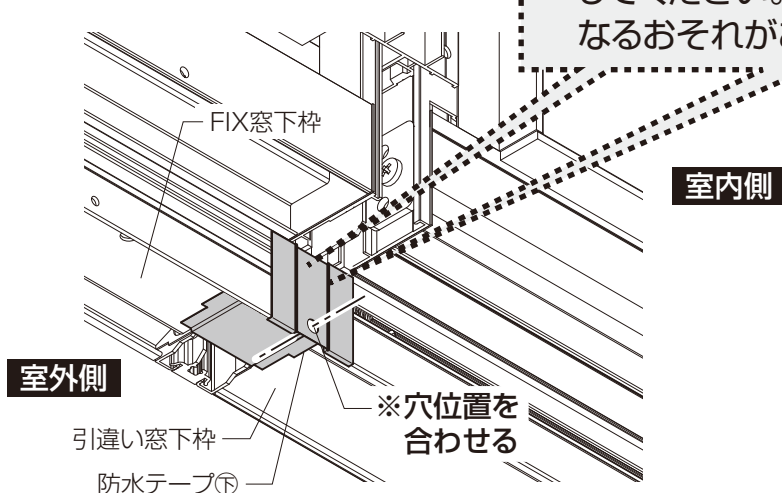


③防水テープ切込み部で釘打ちフィンを折り返し、釘打ちフィン裏側まで張ります。
※防水テープの2つの穴位置を合わせて折り返してください。(図5上・下)

(図5上)



(図5下)



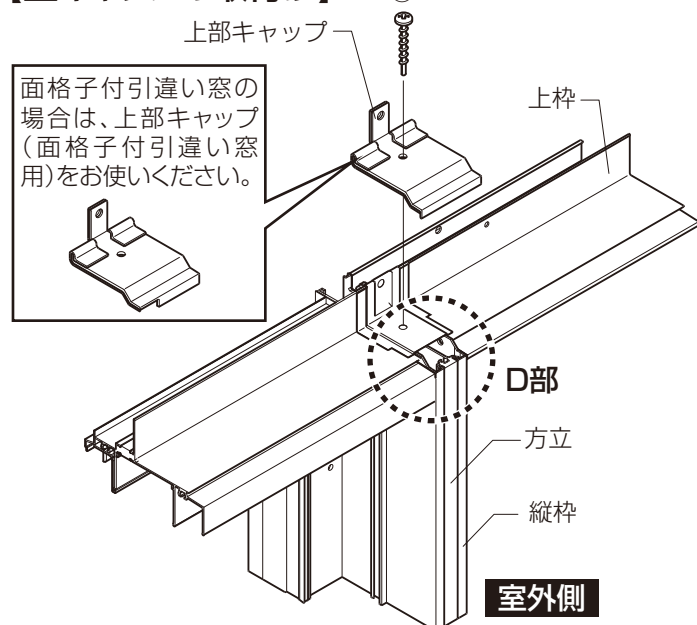
▲ 注意

●浮きがないように強く圧着してください。漏水の原因になるおそれがあります。

5上・下キャップの取付け

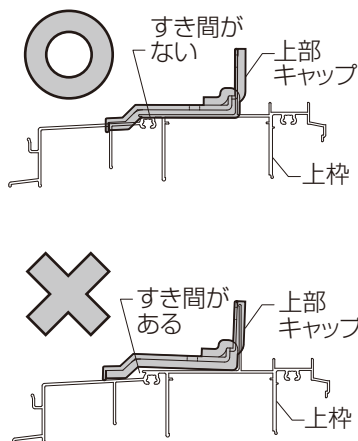
●連結部の上・下にキャップをねじ止めします。
※キャップには上・下がありますので確認してください。
※下部キャップは、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。

【上キャップの取付け】

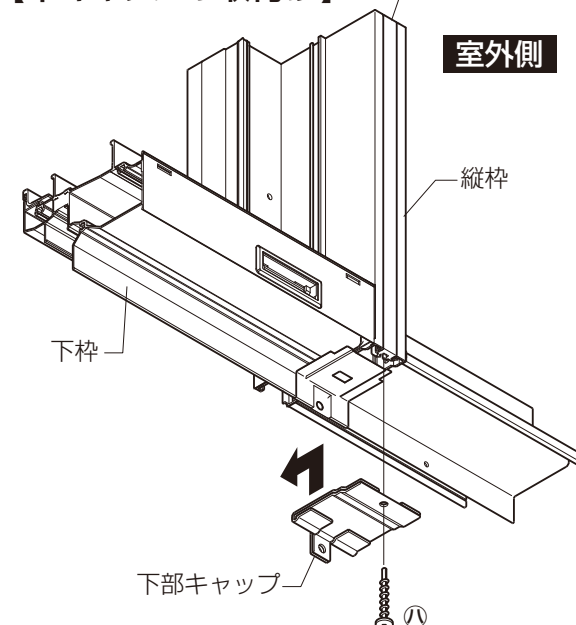


■D部詳細図

上部キャップは、上枠とすき間ができないように取付けてください。

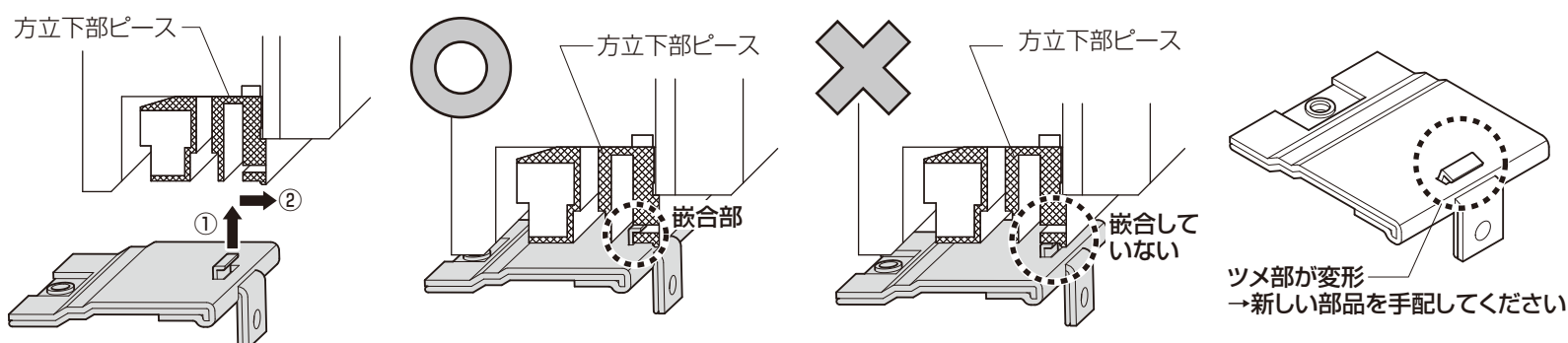


【下キャップの取付け】



▲ 注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・下部キャップは、ツメが変形していないこと、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。



・電動ドライバーは使用しないでください。
・ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないこと、また排水穴にすき間があることを確認してください。

